



豊島区環境基本計画

概要版

2019—2030

みんなが主役 文化とともに発展するエコシティ としま



豊島区環境基本計画について

●目的

豊島区環境基本計画は、区的环境保全に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための計画です。

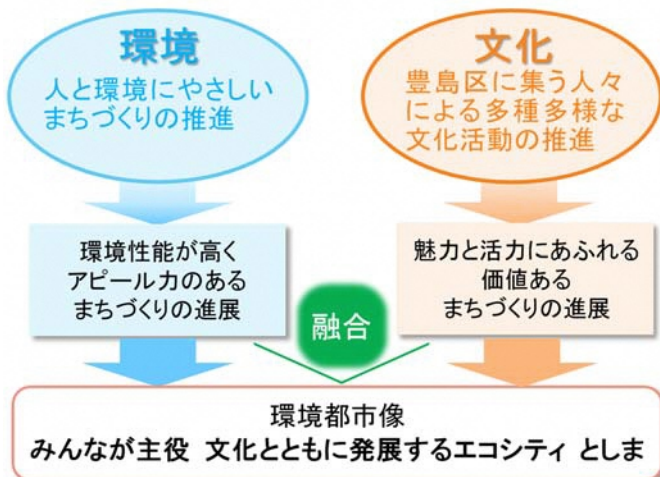
●計画期間

2019年度から2030年度まで
※中間年度を目途に見直し予定

●目指すべき環境都市像

みんなが主役 文化とともに発展するエコシティ としま

●環境と文化の融合

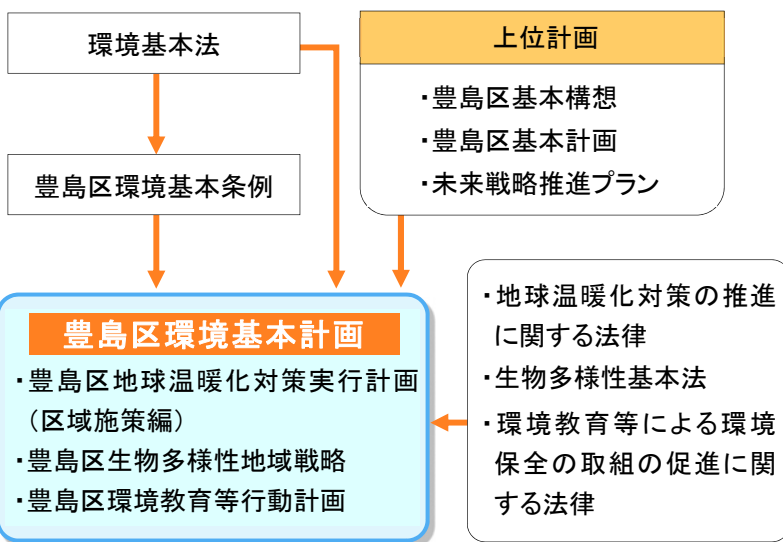


国際アート・カルチャー都市※としての魅力や活力の創造と環境に配慮したまちづくりを同時に進めていくことで、環境と文化が互いを向上させ、豊かでうるおいがあり、魅力と活力にあふれる都市を目指します。

※国際アート・カルチャー都市

伝統的な文化から先端的な文化まで、衣食住に関わる生活文化からハードな都市づくりまでをも含み、アートの持つ想像力・創造力で、まちを構成する多様な人々の参加と協働によりまちづくりを展開していくことで、世界中の人々を魅了し、持続発展する都市のこと。

●位置づけ



●推進主体

区民・事業者・区がそれぞれの役割を果たし、連携・協働して取組みを推進します。また、区に集うすべての人「みんな」の協働による取組みを推進します。



●計画の特徴

1. 重点施策およびリーディングプロジェクトの新設

区が目指す環境都市像を実現するために、優先的に取り組むべき主要な施策（重点施策）、その中で優先的に取り組む事業（リーディングプロジェクト）を選定しました。

2. 持続可能な開発目標（SDGs）と環境施策の関わりを明示

各分野の施策の方向が貢献すると想定される主なSDGsの目標を明示しました。

3. 計画の進行管理の強化

計画の進行管理に係る全期間のPDCAと、事業の進行管理に係る毎年度のPDCAを多層的に運用します。また、進捗管理の強化を図るため、成果指標、取組指標を設定し、進捗状況を管理します。

施策の体系

基本目標 I

気候変動に対応し、脱炭素化に向けた取組みを進めるまち

豊島区地球温暖化対策実行計画(区域施策編)

I-1 再生可能エネルギー・新エネルギーの普及を拡大する	★ ★	①再生可能エネルギー設備の導入支援 ②区有施設における再生可能エネルギー設備の導入 ③再生可能エネルギー・新エネルギー等に関する普及啓発
I-2 家庭における環境配慮行動を促進する		①環境配慮・省エネ対策への支援 ②環境配慮・省エネ対策の普及啓発
I-3 事業所における環境配慮行動を促進する		①環境配慮・省エネ対策への支援 ②環境配慮・省エネ対策の普及啓発
I-4 区役所における環境配慮行動を促進する		①職員の意識・行動改革 ②区有施設等の低炭素化 ③環境配慮型事業活動の推進
I-5 低炭素なまちをつくる		①公共交通環境の整備・改善 ②自転車交通環境の整備・運営 ③建築物の環境配慮
I-6 気候変動に適応するまちをつくる	★ ⑤	④低炭素まちづくりの推進 ①暑熱環境対策 ②災害等への備え

基本目標 II

みどりや生きものの豊かさを育み、人と自然がつながるまち

豊島区生物多様性地域戦略

II-1 生物多様性を保全する	★	①自然環境や生物に関する調査・把握 ②自然環境の保全と創出 ③生物多様性保全のための学習・参加の場の提供 ④危険な外来種の情報提供
II-2 みどりを保全・創出する	★ ⑤	①都市空間の緑化推進 ②公共空間のみどりの保全・再生・創出 ③身近なみどりの育成 ④緑のネットワーク化
II-3 人と自然のつながりを深めるまちをつくる	★	①地域が参加するみどりのまちづくり ②地域の人に親しまれる環境の創出・保全

基本目標 III

ごみを出さない暮らしと資源の循環に協働して取り組むまち

III-1 リデュース・リユースを推進する	★	①食品ロスの削減 ②リデュース・リユース施策の継続的な展開 ③ごみ減量についての効果的な周知 ④区民ひろば等の地域拠点の活用 ⑤事業者との連携によるリデュース・リユースの推進 ⑥連携の場の創出とリーダー育成
III-2 質の高いリサイクルを実現する		①わかりやすく効果の高い分別の検討 ②事業者の自主的取組みとの協働 ③事業系ごみのリサイクルの促進 ④集団回収の積極的活用 ⑤新たなリサイクルの拡充
III-3 安定的で適正なごみ処理を推進する	★ ★ ⑤	①適正分別・適正排出の徹底 ②有害物質等の適正処理 ③事業者の民間収集移行促進 ④災害廃棄物についての対策

基本目標 IV

すべての人が安全・安心・快適な環境の中で暮らし活動できるまち

IV-1 健康・快適な環境を保全する	★	①公害対策 ②化学物質の適正管理
IV-2 美しいまちづくりを推進する	★ ★ ⑤	①路上喫煙・ポイ捨て防止対策 ②清掃・美化活動の推進 ③害獣等による被害対策

連携・協働

持続可能な環境づくりのために行動する人の輪を広げるまち

豊島区環境教育等行動計画

連-1 環境教育を促進する	★ ⑤	①環境教育・環境学習の推進 ②環境情報の効果的な発信
連-2 環境人材を育成し、活動の場を広げる	★	①環境活動を率いる人材育成 ②環境活動の拡大
連-3 連携・協働の仕組みをつくる	★	①協働による環境活動の推進 ②事業者・行政の連携強化 ③行政間連携による環境配慮

★:重点施策

⑤:区民が選んだ重点施策

●重点施策

①再生可能エネルギー設備の導入支援

住宅に設置される太陽光発電システムや、太陽熱温水器等の再生可能エネルギー機器の設置費用を助成し、導入を支援します。



②区有施設における再生可能エネルギー設備の導入

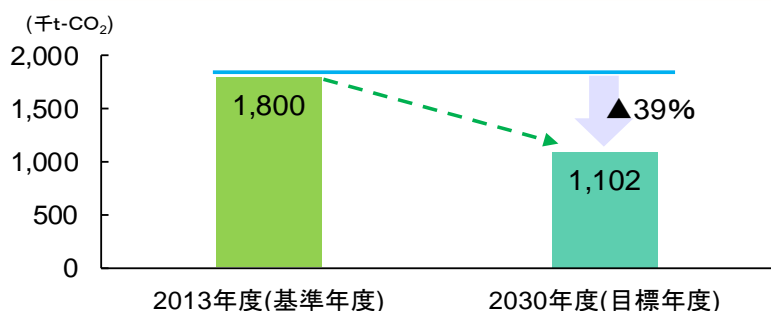
新築、改築、改修を行う学校や公共施設への太陽光発電システム等の再生可能エネルギーの導入を進めます。

③低炭素まちづくりの推進

鉄道駅周辺など、商業・業務などの都市機能が集積しエネルギーを多く消費する場所において、都市開発の機会を捉えて、地域冷暖房やコージェネレーションシステムの導入、未利用エネルギーの活用などを含め、複数の建物間での面的なエネルギー利用を促進します。

豊島区の温室効果ガス削減目標

2030年度に2013年度比で39%削減



区では、国の「地球温暖化対策計画」の取組みに加え、本計画で定める施策を進めることで、温室効果ガス排出量の削減を図っていきます。

●指標

成果指標	現状値 (2017年度)	目標値 (2030年度)
区内の温室効果ガス排出量 (千 t-CO ₂)	1,647 (2015年度)	1,102
区内の太陽光発電設置容量 (kW)	5,692	12,311
区内の太陽光発電設置件数 (件)	1,246	2,695
豊島区役所の CO ₂ 排出量 (事務事業) (t-CO ₂)	15,787	10,187

●リーディングプロジェクト

「としま低炭素モデル地区基準」の設定による低炭素まちづくりの推進

【概要】新たに低炭素モデル地区基準を設定し、区内事業者に対して推進していきます。

この取組みにより、地域全体のエネルギー利用の最適化を目指します。

◆としま低炭素モデル地区基準(予定)

I を満たし、II を2つ以上満たすもの

基準	要件
I 環境性能	非住宅：東京都建築物環境計画書制度 段階 3 住宅：住宅性能表示制度 断熱等性能等級 等級 4
II エネルギーの面的利用	・地域冷暖房 ・コージェネレーションシステム ・再生可能エネルギー

電気バス (IKEBUS)

池袋副都心内を、安全に安心して移動できる新たな移動サービスとして、環境にやさしい低炭素型電気バスを導入します。



●重点施策

①自然環境の保全と創出

生態系に配慮した公園の整備に取り組みます。
また、改築などにあたっては、小学校敷地に水辺や木、草地などのビオトープを整備します。
これらの取組みによって、みどりと水のネットワークの形成を進め、生きものの生息空間を保全します。



②公共空間のみどりの保全・再生・創出

学校に土地本来の森を再生する「学校の森」の維持管理をはじめ、屋上緑化・壁面緑化など、みどり豊かな学校環境の整備に取り組みます。
また、公共施設の緑化を推進します。



③地域が参加するみどりのまちづくり

「グリーンとしま」再生プロジェクトなどの地域と協働してみどりを創出する取組みを継続するとともに、創出したみどり空間を、区民や地域とともに維持管理していきます。
また、みどりのボランティアへの支援、区民ひろばが中心となった緑化活動や、区民ひろばまつりなど、地域での様々な緑化活動によって、みどりのまちづくりを促進していきます。



●指標

成果指標	現状値 (2017年度)	目標値 (2030年度)
生きもの調査に参加する区民の数 (累計)	283	1,258
緑被率 (%)	12.9 (2015年度)	13.0 (2020年度)
緑視率が25%以上の箇所の割合 (%)	16.8 (2015年度)	(増加)
みどりのボランティア団体数 (累計) ※「みどりの協定」により公園内の花壇等を管理	26	26

: 「豊島区みどりの基本計画」(2016年3月)により、現状値(2015年度)、目標値(2020年度)を記載。
目標値は、同計画の改定(2021年度予定)以降に見直す。

●リーディングプロジェクト

みどりやビオトープの維持管理

【概要】

維持管理の改善

- ・区有施設に整備したビオトープの管理状況について、専門家による調査を実施し、今後の維持管理の改善につなげます。
- ・「いのちの森」、「学校の森」などの樹木について、専門家による調査結果を参考に、みどりの保全を考慮した管理を行います。

連携によるみどりなどの保全

区民や地域との連携による区有施設(公園・学校など)の樹木やビオトープの維持管理を推進するとともに、協働による維持管理体制の構築を検討していきます。



(仮称)造幣局地区防災公園の整備
(2020年春オープン予定)

防災機能に加えて、樹木に包まれた園路やイチヨウ並木を有する、区内最大面積1.7haを誇る公園がオープンします。



主に関連する
SDGsの目標



基本目標Ⅲ

ごみを出さないくらしと資源の循環に協働して取り組むまち

重点施策

①食品ロスの削減

家庭からの食品ロス削減の取組みを促すための普及啓発講座を実施します。

②事業者の民間収集移行促進

事業活動に伴って排出される事業系廃棄物の民間収集移行を促進します。

③災害廃棄物についての対策

災害により生じた廃棄物を円滑かつ迅速に処理するため、東京都や近隣自治体、事業者等と協定の締結などにより連携を図りながら、処理体制の構築を進めていきます。



指標

成果指標	現状値 (2017年度)	目標値 (2030年度)
一人一日あたり区収集ごみ量 (g/人日)	541	520
資源化率 (%)	19.9	22.8
事業系ごみ (持込ごみ※) の排出量 (t)	43,841	28,384

※持込ごみ：承認を受けた事業者などが清掃工場に直接持ち込んだごみのこと



リーディングプロジェクト

食品ロス削減対策事業

【概要】民間事業者とのさらなる連携により、地域全体での食品ロス削減対策を促進していきます。協力店の創設やフードドライブを行います。

主に関連する
SDGsの目標



基本目標Ⅳ

すべての人が安全・安心・快適な環境の中でくらし活動できるまち

重点施策

①化学物質の適正管理

光化学オキシダントやPM2.5（微小粒子状物質）の発生抑制のため、工場等への立ち入り指導を通じてVOC排出削減を推進します。

②路上喫煙・ポイ捨て防止対策

通行人に路上喫煙・ポイ捨て防止を呼びかけるキャンペーン、パトロールの実施、指定喫煙所の設置による路上分煙の徹底などに取り組めます。

③清掃・美化活動の推進

としまがいちばんきれいになる日「ごみゼロデー」の実施、自主的な環境美化活動を実践する区内の企業・団体等の「としまクリーンサポーター」としての登録促進などに取り組めます。



指標

成果指標	現状値 (2017年度)	目標値 (2030年度)
大気汚染物質の環境基準達成状況 (%)	80	100
路上喫煙率 (%)	0.07	0.03
ごみゼロデー参加人数 (人/年)	15,452	16,000
「道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくきれいである」について、肯定的な回答をする区民の割合 (%)	30.4	35.0

リーディングプロジェクト

路上喫煙・ポイ捨て防止対策の充実

【概要】多言語による路上喫煙・ポイ捨て防止対策を行うことで、ルールの周知を進めます。多言語音声翻訳機の活用により、双方向コミュニケーションを図った丁寧な指導を行います。また、ルールを共有できるよう、路上啓発表示や看板の多言語対応を図ります。

主に関連する
SDGsの目標



●重点施策

①環境教育・環境学習の推進

区立の小中学校における環境教育を、「としまふるさと学習プログラム」の一環として位置づけ、地域の自然環境などを含め、歴史や文化など、郷土への愛着を育むプログラムとして展開していきます。

また、「豊島の森」を活用した環境講座など、区民に対して環境に関する様々なテーマについて学習できる機会を提供します。

②環境活動を率いる人材育成

様々な環境分野においてリーダーとして地域で活動できる人材を育成していきます。

③事業者・行政の連携強化

まちの再開発などの機会を捉えて、事業者の積極的な関与による低炭素化を目指していきます。

そして、区民に向けた環境イベントについて、事業者と連携した実施も図っていきます。

エコスクール化

これから改築する池袋第一小学校は、「森の中の学校」をコンセプトに、豊島区のみどりの拠点の一つとして2022年8月に開校予定です。



●指標

成果指標	現状値 (2017年度)	目標値 (2030年度)
みんなで(地域や事業者等と連携して)環境保全に取り組んでいる、または取り組みたいと考える区民の割合(%)	—	66.8

●リーディングプロジェクト

(仮称) クリーンサポーター・リーダー制度

【概要】自主的な環境美化活動を実践する「としまクリーンサポーター」を発展させ、リーダー制度を創設することで、地域清掃のリーダーとして活動していただくことを目指します。区内の異なる主体間の連携による環境活動を活性化し、環境づくりのための行動の輪を広げていきます。

自治体間交流 / 自治体間連携によるカーボン・オフセット事業の展開

区では、環境面においても区民への自然体験の機会を提供し、住民間の連携を促進しています。

自治体間交流事業の例

●様々な地域との共生

～豊島区・秩父市版生涯活躍のまちづくり～

移住・交流促進事業の推進により、豊島区・秩父市が共に発展していくモデルを構築しています。その一環として2018年には、農業体験型農園にて、地元の方とともに、参加者が共同で作物を栽培しました。

●観光交流

茨城県常陸大宮市、栃木県那珂川町など

●教育連携

長野県立科町、秋田県能代市など

自治体間連携によるカーボン・オフセット事業



2019年度から、秩父市との連携によるカーボン・オフセット事業を実施します。区が秩父市に整備する森林を活用し、ダイナミックな自然体験を伴う環境交流事業を実施し、区民への環境教育を促進します。

自治体間連携によるカーボン・オフセット

都市部の住民などによる日常生活や事業活動に伴う温室効果ガスの一部を、森林を多く有する自治体との連携による森林整備を行うことで温室効果ガスの排出削減・吸収価値を創出し、埋め合わせすること。



COOL CHOICE チェック！



クール・チョイス（賢い選択）ができていますか？
日頃の小さな選択が、未来を大きく変えていきます。できることから始めてみましょう！

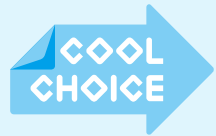
リビング	CO ₂ 削減量（年間）	節約額（年間）
テレビを見ないときは消す 1日1時間テレビ（32V型）を見る時間を減らした場合 	9.9 kg	約 450 円
テレビ画面は明るすぎないように調節する テレビ（32V型）の画面の輝度を最適（最大→中間）にした場合	15.9 kg	約 730 円
パソコンを使わない時は、電源を切る 1日1時間利用時間を短縮した場合	18.5 kg	約 850 円
夏の冷房時の室温は 28℃に調節する ※熱中症にならないようご注意ください 外気温度 31℃の時、エアコン（2.2kW）の冷房設定温度を 27℃から 28℃にした場合（使用時間：9時間/日）	17.8 kg	約 820 円
冬の暖房時の室温は 20℃に調節する 外気温度 6℃の時、エアコン（2.2kW）の暖房設定温度を 21℃から 20℃にした場合（使用時間：9時間/日）	31.2 kg	約 1,430 円
エアコンのフィルターをこまめに掃除する フィルターが目詰まりしているエアコン（2.2kW）とフィルターを清掃した場合の比較 	18.8 kg	約 860 円
キッチン	CO ₂ 削減量（年間）	節約額（年間）
冷蔵庫には、ものをつめ込みすぎない 詰め込んだ場合と、半分にした場合との比較	25.7 kg	約 1,180 円
冷蔵庫の設定温度を適切にする 周囲温度 22℃で、設定温度を「強」から「中」にした場合 	36.2 kg	約 1,670 円
電気ポットの保温時間を減らす ポットに満タンの水 2.2ℓ を入れ沸騰させ、1.2ℓ を使用後、6 時間保温状態にした場合と、プラグを抜いて保温しないで再沸騰させて使用した場合の比較	63.1 kg	約 2,900 円
水回りやお風呂・洗面所など	CO ₂ 削減量（年間）	節約額（年間）
シャワーを不必要に流したままにしない 45℃のお湯を流す時間を 1 分間短縮した場合	29.0 kg	約 3,300 円
入浴は間隔をあげずに、追い焚きを減らす 2 時間放置により 4.5℃低下した湯（200ℓ）を追い焚きする場合（1 回/日）	87.0 kg	約 6,880 円
温水洗浄便座を使わないときはフタを閉める フタを閉めた場合と、開けっ放しの場合との比較（貯湯式）	20.5 kg	約 940 円
買い替えで省エネ	CO ₂ 削減量（年間）	節約額（年間）
白熱電球から LED 電球に買い替える 60W 相当の白熱電球から電球形 LED ランプに交換、1 日 5.5 時間点灯した場合 	52.2 kg	約 2,410 円
省エネルギー型のエアコンに買い替える （2007 年製から 2016 年製に） エアコン（2.8kW・8～12畳）を冷房期間 3.6 ヶ月、暖房期間 5.5 ヶ月で 1 日 18 時間使用した場合	103 kg	約 4,698 円
省エネルギー型の冷蔵庫に買い替える （2007 年製から 2016 年製に） 電気冷蔵庫（401～450ℓ）の場合	107 kg	約 5,697 円

※上記の CO₂削減量及び節約額は、参考値です。個別の条件等により数値は異なります。

【出典】「家庭の省エネ徹底ガイド春夏秋冬（2017 年 8 月）」、「省エネ性能カタログ 2017 年冬版」（資源エネルギー庁）をもとに作成

「クール・チョイス」とは？

国が掲げる、2030 年度の温室効果ガスの排出量を 2013 年度比で 26%削減するという目標達成のために、日本が世界に誇る省エネルギー・低炭素型の製品・サービス・行動など、温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択（クール・チョイス）」を促す国民運動です。



未来のために、いま選ぼう。

本計画（概要版）は、「豊島区環境基本計画」本編の概要を記載しているものです。詳細は、計画本編（区ホームページ掲載）をご覧ください。

[発行] 豊島区 環境清掃部 環境政策課

〒171-8422 豊島区南池袋 2-45-1 TEL 03(3981)1111 (代表)

豊島区ホームページ <http://www.city.toshima.lg.jp/>

